

Merry  
christmas



吉田 眞

〔クリスマス・メッセージ〕



# クリスマスの希望

東日本大震災が起こってから九カ月が経とうとしています。未だにその被害の傷跡がたくさんの場所に残っています。大きな被害を受けた市町村の復興はまだまだ先のように見えません。そのような困難の中で、心がくじけ、前に進めないように感じることがあるに違いありません。そのような時、人を前へと進める力は、将来への希望が見える、ということではないでしょうか。

救世軍も、少しでも希望をもっていたくことができればよいと、いろいろな支援をしてきました。これからもその支援は継続されるでしょう。

さて、クリスマスは、イエス・キリストの誕生を祝う日であり、まさに将来に希望を与える出来事だったのです。当時、キリストが生まれたユダヤの国は、ローマの属国であり、被占領国としての苦しみに遭っていました。政治は墮落し、貧富の差は激しく、弱者が虐げられていました。宗教的には、宗教家たちが墮落し、本当の心の宗教が低迷していました。人々は、そのような状況の中で、救世

主（メシア）の到来を待ち望んでいました。七百年も前から救世主の到来が預言されていたからです。彼らの期待するメシアは、ローマという占領国を打ち破り、ユダヤの独立と繁栄をもたらす人だったのです。ところが、実際に現れた救世主（イエス・キリスト）は、この世の王様の家にはなく、宮殿での一室ではなく、きらびやかな産着を着てではなく、小さな村ベツレヘムの外れの、普通の宿屋どころか家畜小屋の片隅で、粗末な布にくるまれて生まれました。

彼は、聖書の表現を借りるならば、「神の子であったのにそれに固執しないで、人間の一人として、人間空間に生まれた」のです。それは、普通の人間のもつ悲しみや苦しみ、孤独や疎外感、貧しさや虐げ、それらのすべてをわたしたち人間と共有するためでした。

苦しみの中にあるとき、一番励まされるのは、同じ苦しみや悲しみを共有してくれる人がいることではないでしょうか。キリストは、まさにわたしたちの悲しみや苦しみを共有してくださるのです。さらに、それだけ

にはとどまりませんでした。三十年余の生涯の後、彼は、十字架に架かって死んだのです。聖書によれば、それは、わたしたち人間の罪（自己中心的な思いや行動より大きな存在である神を認めないこと）に対する罰の身代わりとなるためでした。その結果、人間には、罪を赦され、心の平安を得る道が開かれたのです。

キリストが生まれたとき、ユダヤ人たちが期待したのは、国家の回復、目に見える繁栄でした。同じようにわたしたちも、目に見える豊かさを求めてしまいますが、本当の安心、平和は、心の中にあるべきものなのです。イエス・キリストの誕生（クリスマス）は、その心の平安と豊かさを得ることができるといふこと、神様が与えてくださったしるしなのです。それは、キリストにおいて、父なる神様がわたしたちの価値を認

め、ありのままのわたしたちを受け入れてくださることが、約束されているからなのです。

苦しんでいる人がいるでしょうか。心に平安がない人がいるでしょうか。自分の行き先がわからない人がいるでしょうか。誰も自分をわかってくれないと言っている人がいるでしょうか。心の中に不平ばかりが起こっている人がいるでしょうか。何事につけても、感謝ができない人がいるでしょうか。

もしあなたがその人の一人なら、クリスマスはあなたに希望を約束します。なぜなら、二千年前に生まれたキリストは、今も、信じる者にとって、その約束を受け入れる者にとって、それらに回答を与えてくださる救世主であるからです。  
〔救世軍士官（伝道者）・司令官〕



《信仰の体験談》

# 98%クリスチャンの国から来て 1%クリスチャンの国で 神様を知りました



アマリア・ネクラエシュ

神様のユーモアのセンスは、ときどき、「とんでもなくすごい」ものです。98%「クリスチャンの国」で生まれて、そして、自分の家族もその98%の中にいるなら、神様を知ること、神様の救いを知ることは当然だと期待するでしょう。しかし、いつもそうとは限りません。少なくとも、私のケースは、違いました。



**生い立ちと信仰**  
私は、強く信仰生活を守るカトリックの信徒の家に生まれ、毎週日曜日に教会に行く生活をしていました。その上に、私は、真剣に神様を愛していました。

は、ちよつとの間」に罪を犯してしまふんです。例えば……教会で説教を聞いている時、  
「この神父の説教は何て長いんだ！」  
とか、ちよつとでも違うことを考えずにいるなんて、とてもできないでしょう。でも、それだって罪です。神様に認められるような価値のある人間になりたいとどんなに努力をしても、私の罪深い本性は、それを邪魔してしまうのです。どんなに神様を喜ばせ、誇りに思ってもらえるような完璧な人間になりたいと思っても、私には無理でした。簡単に、罪を犯してしまいました。しかも、いつだって、そばに神父様がおられるわけではないので、次の懺悔の時まで、罪悪感と地獄への恐れを抱えながら過ごすしかありませんでした。

### 転機

そんな私に、信仰の転機が訪れました。

私は、国立音楽大学を卒業して、プロのオペラシンガーになりました。結婚しましたが、とても辛い離婚の経験をする事になりました。そのため声も失い、自分を失いかけて……。専門医からは、プロとして二度と歌えないと言われました。絶望の日々を過ごすことになりましたが、奇跡的に声が戻りました。そうした様々なことがあつてから、日本に行くことにしたのです。

ちなみに、よく、「なぜ日本に来たの？」と聞かれます。聞いた人々は、ロマンティックな理由か、日本に興味があつて、日本に来ることが夢だった、というような答えを期待するようです。けれど、私の答えは期待どおりのものではありません。シンプルで重いものです。逃げたかつたんです。過去の苦しみからできるだけ遠く

「完璧でなくてもいい」ということでした。自分の力ではどうやっても神様の国に入ることができない、完璧でない人間のために、神様は独り子のイエスをこの世に送り、身代わりに十字架に架けて罰し、天国への道を開いてくださった。イエス様の身代わりの十字架によって私の罪が赦された！ 本当に必要なことは、それをただ信じることでした。たつた、それだけ！

「その真理は、完璧でなくてもいい」ということでした。自分の力ではどうやっても神様の国に入ることができない、完璧でない人間のために、神様は独り子のイエスをこの世に送り、身代わりに十字架に架けて罰し、天国への道を開いてくださった。イエス様の身代わりの十字架によって私の罪が赦された！ 本当に必要なことは、それをただ信じることでした。たつた、それだけ！

「なぜ日本に来たの？」と聞かれます。聞いた人々は、ロマンティックな理由か、日本に興味があつて、日本に来ることが夢だった、というような答えを期待するようです。けれど、私の答えは期待どおりのものではありません。シンプルで重いものです。逃げたかつたんです。過去の苦しみからできるだけ遠く



家族と共に

「神様を信じること」が当たり前ではなくて、感謝すべきことだということに気がつかされていったのです。更に、こんな疑問が浮かびました。私が98%クリスチャンのクリス教国で生まれたために、選択肢がなく、刷り込まれたクリスチャンの信仰を、本物だと思込んでいたのか、本物の信仰に生きてきたのかどうか？ 今、一人の大人として、キリスト教の神様とこの世の中が勧めるほかの神たちを選択することができるとしたら、私の主としてキリスト教の神様をも

「その真理は、完璧でなくてもいい」ということでした。自分の力ではどうやっても神様の国に入ることができない、完璧でない人間のために、神様は独り子のイエスをこの世に送り、身代わりに十字架に架けて罰し、天国への道を開いてくださった。イエス様の身代わりの十字架によって私の罪が赦された！ 本当に必要なことは、それをただ信じることでした。たつた、それだけ！

「その真理は、完璧でなくてもいい」ということでした。自分の力ではどうやっても神様の国に入ることができない、完璧でない人間のために、神様は独り子のイエスをこの世に送り、身代わりに十字架に架けて罰し、天国への道を開いてくださった。イエス様の身代わりの十字架によって私の罪が赦された！ 本当に必要なことは、それをただ信じることでした。たつた、それだけ！

「その真理は、完璧でなくてもいい」ということでした。自分の力ではどうやっても神様の国に入ることができない、完璧でない人間のために、神様は独り子のイエスをこの世に送り、身代わりに十字架に架けて罰し、天国への道を開いてくださった。イエス様の身代わりの十字架によって私の罪が赦された！ 本当に必要なことは、それをただ信じることでした。たつた、それだけ！

「その真理は、完璧でなくてもいい」ということでした。自分の力ではどうやっても神様の国に入ることができない、完璧でない人間のために、神様は独り子のイエスをこの世に送り、身代わりに十字架に架けて罰し、天国への道を開いてくださった。イエス様の身代わりの十字架によって私の罪が赦された！ 本当に必要なことは、それをただ信じることでした。たつた、それだけ！

「神様を信じること」が当たり前ではなくて、感謝すべきことだということに気がつかされていったのです。更に、こんな疑問が浮かびました。私が98%クリスチャンのクリス教国で生まれたために、選択肢がなく、刷り込まれたクリスチャンの信仰を、本物だと思込んでいたのか、本物の信仰に生きてきたのかどうか？ 今、一人の大人として、キリスト教の神様とこの世の中が勧めるほかの神たちを選択することができるとしたら、私の主としてキリスト教の神様をも

「その真理は、完璧でなくてもいい」ということでした。自分の力ではどうやっても神様の国に入ることができない、完璧でない人間のために、神様は独り子のイエスをこの世に送り、身代わりに十字架に架けて罰し、天国への道を開いてくださった。イエス様の身代わりの十字架によって私の罪が赦された！ 本当に必要なことは、それをただ信じることでした。たつた、それだけ！

「その真理は、完璧でなくてもいい」ということでした。自分の力ではどうやっても神様の国に入ることができない、完璧でない人間のために、神様は独り子のイエスをこの世に送り、身代わりに十字架に架けて罰し、天国への道を開いてくださった。イエス様の身代わりの十字架によって私の罪が赦された！ 本当に必要なことは、それをただ信じることでした。たつた、それだけ！

「その真理は、完璧でなくてもいい」ということでした。自分の力ではどうやっても神様の国に入ることができない、完璧でない人間のために、神様は独り子のイエスをこの世に送り、身代わりに十字架に架けて罰し、天国への道を開いてくださった。イエス様の身代わりの十字架によって私の罪が赦された！ 本当に必要なことは、それをただ信じることでした。たつた、それだけ！

「その真理は、完璧でなくてもいい」ということでした。自分の力ではどうやっても神様の国に入ることができない、完璧でない人間のために、神様は独り子のイエスをこの世に送り、身代わりに十字架に架けて罰し、天国への道を開いてくださった。イエス様の身代わりの十字架によって私の罪が赦された！ 本当に必要なことは、それをただ信じることでした。たつた、それだけ！

「その真理は、完璧でなくてもいい」ということでした。自分の力ではどうやっても神様の国に入ることができない、完璧でない人間のために、神様は独り子のイエスをこの世に送り、身代わりに十字架に架けて罰し、天国への道を開いてくださった。イエス様の身代わりの十字架によって私の罪が赦された！ 本当に必要なことは、それをただ信じることでした。たつた、それだけ！



「神様を信じること」が当たり前ではなくて、感謝すべきことだということに気がつかされていったのです。更に、こんな疑問が浮かびました。私が98%クリスチャンのクリス教国で生まれたために、選択肢がなく、刷り込まれたクリスチャンの信仰を、本物だと思込んでいたのか、本物の信仰に生きてきたのかどうか？ 今、一人の大人として、キリスト教の神様とこの世の中が勧めるほかの神たちを選択することができるとしたら、私の主としてキリスト教の神様をも

「その真理は、完璧でなくてもいい」ということでした。自分の力ではどうやっても神様の国に入ることができない、完璧でない人間のために、神様は独り子のイエスをこの世に送り、身代わりに十字架に架けて罰し、天国への道を開いてくださった。イエス様の身代わりの十字架によって私の罪が赦された！ 本当に必要なことは、それをただ信じることでした。たつた、それだけ！

「その真理は、完璧でなくてもいい」ということでした。自分の力ではどうやっても神様の国に入ることができない、完璧でない人間のために、神様は独り子のイエスをこの世に送り、身代わりに十字架に架けて罰し、天国への道を開いてくださった。イエス様の身代わりの十字架によって私の罪が赦された！ 本当に必要なことは、それをただ信じることでした。たつた、それだけ！

「その真理は、完璧でなくてもいい」ということでした。自分の力ではどうやっても神様の国に入ることができない、完璧でない人間のために、神様は独り子のイエスをこの世に送り、身代わりに十字架に架けて罰し、天国への道を開いてくださった。イエス様の身代わりの十字架によって私の罪が赦された！ 本当に必要なことは、それをただ信じることでした。たつた、それだけ！

「その真理は、完璧でなくてもいい」ということでした。自分の力ではどうやっても神様の国に入ることができない、完璧でない人間のために、神様は独り子のイエスをこの世に送り、身代わりに十字架に架けて罰し、天国への道を開いてくださった。イエス様の身代わりの十字架によって私の罪が赦された！ 本当に必要なことは、それをただ信じることでした。たつた、それだけ！



アマリア・ネクラエシュさんプロフィール

ルーマニアに生まれる。ブカレスト音楽大学でオペラを専攻。修士学位を取得。George Enescu 交響楽団（ルーマニア最高峰の交響楽団）や、ルーマニアラジオ合唱団でソプラノ歌手として活躍。国際的な音楽家たちと共演し、イタリア、オーストリア、ドイツ、イスラエル、スイスなど海外への活動を広げ、小澤征爾氏の指揮でも歌っている。1999年、ストレスで声が出なくなり、専門医から歌手活動を続けることは無理、と宣告される。祖母の祈りと懸命な助力を得て、奇跡的に回復し、オペラの舞台にカムバック。2002年、来日。札幌に拠点を置き、ライブ活動に取り組む。2005年、福音に接して明確な救いの体験をし、クリスチャンシンガーとして再スタート。各地で歌と証しを通して福音を伝えている。また、アニメ映画のオリジナルサウンドトラックにシンガーとして起用されたり、地方テレビのコマーシャルに出演したり、その賜物を発揮して活躍している。

# クリスマスストーリー

## Christmas story

クリスマス (Christmas) は、キリストのお祭り (Christ + mas) という意味で、イエス・キリストの誕生を祝う日として、毎年、世界中で守られています。このイエス・キリストは、今から2000年以上も前に生まれた人物ですが、21世紀に生きる私たちに、どのようにかわりがあるのでしょうか。一番初めのクリスマスの出来事を見て、考えましょう。

1 イエス・キリストの誕生は、その700年以上前から預言されていました。イザヤという預言者の言葉が聖書に記されています。

「ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。  
ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。  
権威が彼の肩にある。  
その名は、『驚くべき指導者、力ある神 永遠の父、平和の君』と唱えられる。」



2 それから長い時がたちました。ある日、ユダヤのナザレ村に住むマリアという女性のところに、天使ガブリエルが現れ、彼女が神の力で身ごもり、救い主となる男の子を産む、と告げました。マリアは大工のヨセフと婚約中で、様々な問題が予想されましたが、「神にはできないことはない」との天使の言葉を信じ、このように返事をしました。



「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」

3 そのころ、ユダヤの国を治めていたローマ帝国の皇帝アウグストゥスが、領土に住むすべての人に、それぞれ自分の故郷に帰って住民登録をするよう命じました。ヨセフも、身重のマリアを連れて先祖ダビデの町ベツレヘムへ向かって、100キロ以上もの長い旅に出ました。



5 イエスの誕生を一番最初に知らされたのは、ベツレヘムの近くの野原で夜を徹して羊の番をしていた羊飼いたちでした。突然、天使が現れ、「わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである」と告げたのです。これを聞いた羊飼いたちはすぐに出かけ、家畜小屋を探し当て、生まれたばかりのイエスを礼拝しました。



4 二人がベツレヘムに着いた時、宿屋はどこも満員で、泊まれる所はありませんでした。やっと見つけたのは、牛やロバのいる家畜小屋。その晩、イエス・キリストはお生まれになりました。約束されていた救い主は、家畜のえさを入れる飼料おけに寝かされたのです。



6 そのころ、遠く東のほうからベツレヘムを目指して旅を続ける一団がありました。占星術の学者たちです。偉大な指導者、世界の王の誕生を告げる星を見つけ、その星に導かれてはるばるやって来たのです。やがて学者たちはイエスがいる家を探し当てると、喜びにあふれ、黄金、乳香、没薬という高価な品々を贈り物として献げ、礼拝しました。



7 こうして誕生したイエス・キリストは、ご自分が「神の子」であること、悔い改めて神を信じるように、と宣べ伝えるようになりました。病む人をいやし、孤独に苦しむ人の友となり、多くの人々に神の愛を知らせました。しかし、何一つ罪を犯さなかったにもかかわらず、十字架に架けられ、処刑されたのです。それは、神を信じないで自分勝手に歩むすべての人の罪の身代わりでした。しかし、墓に葬られて3日目、イエスは死の力を打ち破ってよみがえったのです。

